

市民フロンティア

CS 神戸は、自立と共生を目指し、より良い社会のために主体的に活動する人々をサポートするとともに、自らの活動を通じて、誰もが尊重され支えあう地域社会の実現をめざします。

2017年2月25日発行 通巻 81 号

CS 神戸 20 周年 未来へつなげる大交流会

CS 神戸 20 周年未来へつなげる大交流会から

『アートな NPO 活動、そのゆくえは・・・』

理事長 中村順子

「CS 神戸 20 周年 未来へつなげる大交流会」は、1 日、1 ヶ月、1 年と積み上げてきた活動を、多くの支援者の方々とある種の感動を伴って振り返る機会となりました。まさに、「過去に感謝、未来に希望を」でした。可視化しにくい中間支援組織活動でも 20 年積み上げると、アート作品のごとく個性的な活動体像が浮かび上がってくるものです。その時々、関係者の感性に基づいた一手一手のアイデアや方法が、アーティスティックな技となり、この世に唯一無二の作品（活動）に仕上げてきたとでもいいでしょうか。CS 神戸の 20 年誌「希望につながるコミュニティ」はそのうちの一つの作品です。



活躍の場の無いシニアや若者の引きこもり、孤独な子育てママ、格差社会に影響を受ける子供など常に起こる社会問題に、これまでとは異なった対応策をひねり出し、新しいアプローチで解決に導くやりかたは、アーティストが身体を張って一手間づつ作品を創作するプロセスそのものでした。乱暴な見方かも知れませんが、CS 神戸の 20 年は、青写真の無い中で独自の集团的感性を指針に、手探りでかたちづくってきた NPO アーティストの活動歴といえます。

さて、ここに来て地域密着型中間支援組織の一つのかたちが見えてきたところで、今後このかたちを基礎に青写真を丹念に描き、関係者を結集させて社会問題を解決していく方法を選択するのか、または不安と苛立ちを伴いながらも青写真のないアーティスティックな価値を優先していくのか。具体的には、このあたりで中長期計画を策定するのか否かといったことですが、そろそろ間近に迫った 2017 年度の計画策定の中で議論してみたいものです。急激な変化が予想される時代にあって、どのようなアプローチが当事者性を促し、自立と共生の社会につながるのか。

ともあれ、あの大交流会で強く感じたアーティストの本質である、捉われぬゆるやかなつながりの心地よさ、暮らしを基盤にした感性の確かさ、未知に挑戦する屈託の無さは、未永く大事にしたい価値であると思っています。

ともあれ、あの大交流会で強く感じたアーティストの本質である、捉われぬゆるやかなつながりの心地よさ、暮らしを基盤にした感性の確かさ、未知に挑戦する屈託の無さは、未永く大事にしたい価値であると思っています。



CS 神戸 20 周年未来へつなげる大交流会開催

新旧たくさんの方々と感謝の時間を過ごすことができました

2016年12月23日(金・祝)11:00、CS神戸20周年「未来へつなげる大交流会」が始まりました。理事長の中村さんの挨拶の後、20年にわたってCS神戸と共に歩んでくださった方々の中から、深く関わりがある3名の方から祝辞をいただきました。

CS神戸の歴史を共に歩んできた方々らしく、思い出にまつわる出来事やCS神戸への想いを語っていただきました。



左から、三井氏(NPO法人市民事務局かわにし副理事長)、片岡氏(かかみネットワーク代表)、清田氏(NPO法人月と風 理事長)、司会の野崎氏(ヒーマス研究所)

題して「CS神戸裏レビュー」!! CS神戸のあんなこと、こんなこと、知る人ぞ知る、CS神戸の裏側を暴露していただきました。



坂本相談役

そして、社会福祉法人たんぼぼさんによるアフリカン太鼓(ジェンベ)の演奏がスタートすると、会場の雰囲気が一変! 力強くダイナミックな演奏と歌声、そして即興の踊りで会場中に大地の音楽が響き渡りました。

2部に入って一息ついたところで、CS神戸相談役の坂本氏による乾杯の挨拶。その後御食事・歓談の時間に入ると、参加された皆さんがそれぞれに笑顔を変わって挨拶や会話をされており、賑やかな笑い声が広がりました。食事中には総勢12名のゲストによるリレートークが始まり、設立間もない時代の苦労話から「生涯現役」宣言まで、CS神戸ならではの多様な繋がりを感じる事ができました。



ひょうごホップ・ブレイク 鬼本氏

同じ中間支援団体として
生きサポメンバーの一人



NPO法人しゃらく 小嶋氏



くるくるバスのイベント事業を
共におこなった中谷氏

地域活動事業の協力者
コープこうべ 山添氏



生きがい活動ステーションを協働で運営する
神戸いきいき勤労財団 森田氏



CS神戸元スタッフ 菅氏

他にもたくさんの方々からユニークな
メッセージをいただきました♡



社会福祉法人たんぼぼの皆さん
テーブルの間をめぐって、踊りを披露
(なんと!赤ちゃんもおんぶされて踊ってます♪)



CS神戸役員一同

CS神戸、これからの20年



星野裕志副理事長

20周年の大交流会に、200名を超える方々にご出席いただきまして、本当にありがとうございました。改めて、20年間の活動が、一緒に参加し、連携し、ご協力いただいた多くの方々に支えられてきたことが、よくわかりました。この会を一層楽しく盛り立てていただいた社会福祉法人たんぼぼさんのみなさんにも、感謝の気持ちでいっぱいです。震災から22年、地域で求められることをしっかりと把握しながら、わたしたちの活動も変わっていかなくてはなりません。「未来へつなげる」とはそのような意味であり、この20周年がその転機と考えています。みなさんのますますのご協力をよろしくお願い致します。

プロジェクト密着レポート! vol.5



「地域住民による、地域住民のための文化施設」 東灘区民センター小ホール



アール・デコの装飾が目を引く外観

1937年(昭和12年)に、魚崎町役場として建設された東灘区民センター小ホール。風情ある建物は、役場の後に病院→東灘文化センター→東灘区民センター分館を経て、現在の体制となりました。「東灘」に息づく文化をどのように活性化し、まちづくりをおこなっているかインタビューしてきました!

☆東灘の「実は・・・」☆

古い街並みや酒蔵がある東灘には、実は**文化人がたくさん住んでいます!**

普段は一般企業等にお勤めの方や主婦の方ですが、趣味で絵画・音楽・演劇などに熱心に取り組んでいらっしゃいます。

区民センターでは、そういった方々が講師となって自分の講座を開催できる『**区民カレッジ**』をおこなっています。

自分の得意なことや好きなことで地域のために何かやりたい!という思いを持った方を募集し、プレゼン・審査を経てワンコイン講座(受講料500円/人)を開催していただく仕組みです。**地域住民が地域で活躍できるお手伝いをしています。**この仕組みで興味深いのが、講座を受講した生徒が、今度は教える側になるという循環があることです。また、区民カレッジの講座終了後にステップアップして、定例講座を持った方もこれまでに4名います。

このように、**アートを中心として地域の人材を発掘し、役割をつくり、人を繋いでいくのが区民センターの役目だ**と思っています。

? 東灘区民センター小ホールでCS神戸はどんなことをしていますか?

- ① **建物の維持管理**
外壁や廊下など、共有部分の管理や消防・防犯設備の管理、光熱費などの管理をおこなっています。
- ② **貸室管理**
小ホール、会議室2室、和室1室を一般市民への貸し出しをおこなっており、予約・利用料収納・設備の管理をおこなっています。
- ③ **自主事業**
認知症予防講座、健康体操、ギター、カントリーダンスなど講師を招いての定例講座や、地域の人が講師になる『区民カレッジ』を開催したり、毎年1月には防災イベント「イザ!カエルキャラバン in ひがしなだ」を実施しています。
- ④ **地域文化活性化事業**
地域活動や文化を掘り起こし、地域に展開する事業です。今年度は「クラリネットアンサンブルワークショップ」「こども創作ダンスワークショップ」「東灘名所めぐり/まち歩き(※3月実施予定)」を企画しました。

? 運営の課題はありますか?

- 区民センターの利用率はおかげさまで毎月90%を越え、多くの方々に利用して頂いています。
- 利用者の評価が高い利用率に現れているのは嬉しいのですが、一方で抽選に外れてしまい、利用できなかった団体さんもいらっしゃいます。もっと利用できる機会を増やしたいのですが、施設の空間は限られているので対応は難しいです。
- そこで、キャンセルが発生した場合は抽選に漏れた団体さんに空状況を連絡するなど、少しでも利用の機会を増やせるように工夫しています。
- また、夜間は比較的余裕があるので、より利用がしやすくなるように運営の工夫と広報を頑張っていく予定です。



小ホール館長 兵頭さん

『東灘名所のめぐり 1 Day ツーリズム』

東灘の歴史を気軽に感じることができるイベントを開催します。当時の写真や映像を観ながらの講演、落語で聴く「名所めぐり」、さらには解説スタッフとともに名所をめぐるまち歩きもおこないます。皆さまぜひお越しください。

【日時】3月25日(土) 参加費無料
＜まち歩き＞※3月5日(日)まで先着順
9:30~13:00
＜講演・落語＞
14:00~16:00

【申込・問合せ】
078-453-0151
東灘区民センター小ホール

担当スタッフの檜垣さん
元・宝塚歌劇団のドラマーです



ダイジェストニュース

～ 動きのあるプロジェクトをピックアップしてご紹介！ ～

【市民活動支援部】

生きがいごとサポートセンター神戸東・・・昨年秋に実施した「事務局カアップ講座」の受講生の皆さんは、その後もいくつかの研修や現場体験を重ねていくことで、地域での「居場所」や「役割」を見つけ始めています。今後も定年後のライフスタイルが充実するようお手伝いしていきたいと思えます。

生活支援・介護予防サポーター養成研修・・・1月19日(木)第4期がスタートしました。熱い思いを持った受講生53名は、講義で高齢者の生活支援などの関連知識を学ぶと共に、活動団体を訪問し現場の方のお話を聴き地域活動への意欲を高めています。

法人事務局・・・毎年恒例の「ギフト・オン・ハート・カレンダー・プロジェクト」を実施しました。企業や個人など計63箇所から1万数千部のカレンダーや手帳を寄贈いただきました。ボランティアの御協力により、復興住宅や NPO 団体など計16箇所へ配布しました。

【地域活動事業部】

東灘区民センター小ホール・・・1月21日(日)に「イザ！カエルキャラバン in ひがしなだ」を開催しました。おもちゃの物々交換をしながら紙マスク、スリッパ、お菓子ポシェットなどをつくり、8つの防災体験プログラムを500名以上の親子が楽しみながらしっかり学びました。地域団体、中学生、高校生、大学生、NPO 団体のご協力を頂きありがとうございました。

生きがい活動ステーション・・・第3期「居場所コーディネーター養成講座」が始まりました。今年は「まちかど食堂コース」と銘打って、食を通じた多世代交流の居場所づくりを応援しています。今後、5月を目標に月1回程度開催できたらと考えています。

まちづくりスポット神戸・・・1月21日(土)に神戸外大生による発表会「外大生が見た途上国の今」を BRANCH 神戸学園都市で開催しました。一般、大学生、高校生、中学生、教職員など、多世代の方々が参加し、アフリカやカンボジアの子ども兵のことや地雷撤去などの話に、参加者は感銘と刺激を受けていました。

『希望につながるコミュニティ』絶賛販売中！

～ NPO 活動のエッセンスが詰まっています ～

CS 神戸では、視察・ヒアリング・インターンとして毎年100名以上受入れています。この方々からいつも質問されるのは、「中間支援ってどんなもの？」「CS 神戸の事例を教えて欲しい」といったことです。

このたび出版した本書では、これらの質問にお応えしています。また、CS 神戸の歴史だけではなく、NPO の歩みにもつながる内容となっております。ぜひ一読いただき、皆さまのより良い地域づくりへの後押しとなれば幸いです。

『希望につながるコミュニティ』神戸新聞総合出版センター (2016年12月末発刊)

■定価 1,000円(税別) / A5版 161ページ ※一般書店および CS 神戸事務所にて販売中



会員・寄付

～ 応援いただき、ありがとうございます！ ～

(2016年11月1日～2017年1月31日) ※敬称略

【会費】

WAC 清水さわやかサービス、日下恵子、直田春夫、NPO 法人阪神パソコンネット、山内一夫、樋口晴男、坂下希継、井上怜、平田富士男、株式会社ロックフィールド、大谷敏行、井坂信彦、NPO 法人薫風、長谷川京子、安元邦夫、佐藤友美子、大野利恵、榎本まな、榎本栄次、榎本かな、檜森絹代、中田久美子、赤須治郎

【寄付】

福田菊、竹内章浩、落合弘、野崎亜子、平田富士男、榎本まな、NPO 法人サポートステーション灘・つどいの家、NPO 法人域福祉会ああす、川島悦子、ヒューマンスキル研究所、NPO 法人ふおーらいふ、NPO 法人実用日本語教育推進協会、ひょうご WAC、NPO 法人ジンジャークラブ、大和三重、NPO 法人ゆいまーる神戸、足立勝、NPO 法人ひょうご・まち・くらし研究所、NPO 法人薫風、社会福祉法人協同の苑、NPO 法人にじのかけ橋、NPO 法人生涯学習サポート兵庫、中村順子、飛田敦子、向山良子



2016年度の会費継続をお願いします 市民活動を共に支えてくださる賛助会員(個人・団体)の方々を募集しております。

【会費】

個人会費：3,000円/年

団体会費：10,000円/年

【振込先】

名義：特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸

郵便振替 00950-2-144205

認定 NPO 法人 コミュニティ・サポートセンター神戸 (CS 神戸)

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町 5-2-2 ビュータワー住吉館 104

TEL：078-841-0310 / FAX：078-841-0312 / E-MAIL：office@cskobe.com

発行人：中村順子 編集人：長井明子

2017年2月25日発行 通巻 81 号

編集後記 20周年という大きな節目を終えましたが、新年早々スタッフから新企画があがってきております。21年目のCSも乞うご期待！ (N)